

マニラ育英会 Newsletter

2022年 Spring



みんな、笑顔で学校に行きたい。

フィリピンでは、政府に営業許可を取らず、自宅の前で物を売り、その日暮らしをしている家庭が今でも多くあります。新型コロナウイルスの大流行がそれに拍車をかけ、学校はおろか生きていくことで精一杯という状況。農村部への移住を余儀なされたというご家庭も多いです。

コロナ禍において、日本では当たり前のようにオンライン授業やリモートワークへとシフトしていきましたが、フィリピンでは、近隣住民が教師代わりとなっていて、学校で習う内容を教え合っています。タブレット端末が配布された地域もあるようですが、子供たちは慣れない端末の操作に悪戦苦闘。接続のために自宅の屋根にのぼり電波を探す子もいるそうです。

マニラ育英会は、支援を必要としている子どもが一人でもいるのなら、この活動を続けていきたいと思っています。子どもたちの未来のために尽力してまいりますので、ご協力お願いいたします。

年間スケジュール

4月	会費納入お願いします（4月30日締切）
5月	I.W.A.へ前期奨学金の送金
6月	スポンサーからの手紙をI.W.A.へ郵送
7月	ニュースレター（summer）発行
9月	スカラーからの手紙をスポンサーへ郵送
9月	ニュースレター（autumn）発行
10月	I.W.A.へ後期奨学金の送金
10月	スポンサーからの手紙（クリスマスカード）をI.W.A.へ郵送
12月	ニュースレター（winter）発行
1月	寄附金受領証明書送付 （証明書が早めに必要な方にご連絡ください）
2月	定例総会・スカラーの手紙をスポンサーへ郵送
3月	ニュースレター（spring）発行

フィリピンの食文化

こちらは「ブードル・ファイト」といいます。「ブードル・ファイト（Boodle fight）」とは、フィリピンの伝統的な食べ方のこと。身分の上下に関係なく同じ席に座り、プレート代わりにバナナの皮に料理を載せて食べる、といったものです。バナナの皮はツルツルとした触り心地。プレート代わりにも領けます。

取り皿はなく、テーブル一面にバナナの皮を敷き、そこにそのまま料理を盛り付けていきます。

「ブードル・ファイト」は何か特別な時に食べられるそうです。ナイフやフォークはなく、直接手を使って食べます。フィリピンでは片手で食べるのがマナーです。

後片付けもとっても簡単。バナナの皮を丸めて捨てるだけです。

年齢や地位に関係なくみんなで同じテーブルを囲むので、結束力も高まるそうです。日本でも同じ釜の飯を食う、なんて言いますもんね。

日本にはない未知の食材、フィリピンならではの味付け。独特の食文化に出会えます。



メッセージを送りませんか？

電子メールが飛び交い、効率化が求められる時代。こんな世の中だからこそ、手の込んだ手紙を受け取るとキュンとしませんか？

新学期、期待と不安が入り混じるのは、日本の子どももマニラの子どもも一緒です。「がんばれ！」「応援してるよ！」など、一言あるだけで頑張れるはずです。

手書きは苦手...という方は、メールでも子どもたちへのメッセージを受け付けておりますので、お気軽に右下のメールアドレスへお送りください。次回の現地への発送は6月中旬を予定しています。



年会費納入のお願い

マニラ育英会では、年会費（奨学金）を前期と後期の2回に分けて送金しています。

今年度の前期奨学金は、5月中旬に送金しますので、4月30日(土)までにお振込みいただけますと幸いです。

お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

マニラ育英会

- ・一人でも多くの子どもたちが学校へ行けるようにお手伝いをする。
- ・マニラとの交流を大切にする。
- ・対等に認め合い、喜びを分かち合える関係に。

〒020-0022

岩手県盛岡市大通3-1-23 3F

(郵便物：〒020-8791 盛岡中央郵便局 私書箱133号)

019-604-2570 090-4612-6214

satooya_morioka@yahoo.co.jp